

## 【第5回委員会の概要】

### 宇和島市立吉田病院 病院機能等改編計画策定委員会（第5回）

日 時：平成30年12月19日（水）18:30～20:00

会 場：市立吉田病院 南棟3F講堂

出席者：委員11名、事務局7名

#### 1. 委員長挨拶

（省略）

#### 2. 議事

##### （1）病院機能・病棟機能・旧館解体の確認

病院機能・病棟機能・旧館解体について、前回までの協議結果を確認した。病院機能においては、耐震性の確保された新館で病院運営をおこなうため、運営規模を小さくする。医療種は、回復期・慢性期を担う。外来機能については、町内5開業医に多くの外来患者を診てもらおう。その代わりに、入院機能については、町内5開業医からの入院患者を積極的に受け入れることができるようにしておく。地元開業医の先生方と医療面のネットワークを作り、強化していく。そのためにも、検査機能は充実させる。

病棟機能については、病床再編シミュレーションや市立3病院の機能連携、無理のない病床再編を考慮すると、まず一般病棟・地域包括ケア病床・療養病棟からなる回復期パターンB80床モデルを目標とし、経営努力を行って、地域包括ケア病棟・療養病棟からなる回復期パターンA80床モデルを最終目標とする。病床数については、現在の届出病床100床から80床程度にする。内訳は、新館の構造、改築設計等に関わってくるため保留となった。

中棟・南棟の旧館については、南海トラフ級の地震で崩壊・倒壊の可能性が極めて高いため、新館改修時解体することとなった。

##### （2）コンサル調査報告

（別紙「第5回 病院機能等改編計画策定委員会」参照）

病床再編パターンの回復期Bについて、パターンAとの違い、病棟運営における稼働率の高維持等を説明した。続いて、吉田病院が地域で果たす役割を模式図で確認した。更に、新館改築のイメージ図、現在の病棟経営収支と改編後の回復期パターンB80床の比較を行った。

歯科外来診療について、患者数年次・月次推移、収益年次・月次推移、歯科診療利益年次推移、町内の3歯科医院の現状、2050年までの将来推計患者推移のデータ、民間の歯科医院を圧迫している可能性が否定できないこと等の報告があった。

給食提供業態については、100～199床規模公立病院における給食委託件数割

## 【第5回委員会の概要】

合、100床あたり給食費用について、吉田病院との比較があった。

### (3) 歯科外来診療について

コンサルデータ、公立病院として歯科外来の必要性の有無、町内に3歯科医院があること等をもとに協議した結果、歯科外来は、病院改編時に廃止することが全科一致で決定した。

### (4) 給食提供業態について

調理員の確保が非常に困難な現状と病院における医療食について、配食、委託等の説明を聞き協議をしたが、どの形態が吉田病院に適し、持続性があるか食材に関し地元業者から仕入れてもらいたい等、問題が多岐にわたり専門的すぎるため、専門職である管理栄養士に検討してもらうことで病院局へ一任となった。

### (5) 住民説明会について

平成31年2月5日（火）18:30 市立吉田公民館大ホールで決定

### (6) パブリックコメントについて

平成31年2月6日（水）から同2月19日まで2週間行う。意見等送付先は、市立吉田病院。

## 3 その他

今後のスケジュールについて、住民説明会、パブリックコメント終了後、策定委員会でそれらを報告・協議をし、病院局にて宇和島市立吉田病院 病院機能等改編計画（案）が作成され、市長・議会への報告・説明の後、決裁等を経て同計画が完成することを説明。

次回以降の策定委員会を1月23日、2月27日に開催することとし、2月27日を持って本策定委員会を閉会することを確認した。